



静岡県議会報告

平成30年春号



自民改革会議 いつわかい
五輪会 静岡県議会議員

おちあいしんご 落合慎悟



地域の声を県政に反映
ご意見ご要望をお聞かせください。



平成30年3月1日(木)落合慎悟県議 本会議一般質問&答弁内容(一部)



(1) 中小企業の事業承継に対する支援

静岡県内の中小企業は2001年に15万8623社あったが、13年後の2014年には2割も減少している。

県内中小企業は経営者の高齢化が進み、後継者不在を理由に休業・解散が増えている。県は中小企業に事業承継の準備を積極的に働きかけていくべきと考える。

中小企業の事業承継の支援に対する県の取組を伺う。

(2) 本県産業を支える技能者の育成

団塊の世代が退職し、優れた技術・技能を持つ人材不足が、顕著に表れてきた。1級技能士を確保できない中小企業には、県が行なう在職者訓練の積極的な活用が有効だと考える。技術専門校では、技能充実に向けて、どのような取組を検討されているか伺う。

(3) 空き家対策

活用可能な空き家の中には調査に多くの時間と費用がかかるにもかかわらず、成約しても物件価格が低いため、報酬が業務量に伴わず不動産事業者の負担となる場合がある。

県内には調査費用を独自に助成している市町もあり、不動産関係団体などと空き家の活用について連携した取り組みが重要であると考えるが、県として空き家対策に今後どのように取り組んでいくのか伺う。

(4) 在宅医療の提供体制について

少子高齢化の急速な進行に伴い、2025年には、在宅医療等を必要とする方が全国で約130万人、静岡県は約4万人と推計している。

県は今年度中に、第8次静岡県保健医療計画を策定する。県として、在宅医療の提供体制の充実に向けて、どのように取り組んでいくのか伺う。

(5) 都市計画道路志太中央幹線について

都市計画道路 志太中央幹線は、志太平野の南北の骨格となる重要な路線であり、国道1号藤枝バイパス4車線化事業と連携し、早急に整備を進めるべきと考える。そこで、志太中央幹線の整備状況と事業未着手区間の見通しについて伺う。また、整備区間終点が旧国道1号の大手交差点と非常に近いため、県道焼津藤枝線まで延伸しないと交差点の交通処理が上手くいかないのではないか。県道焼津藤枝線までの事業化を考えているのか伺う。

1月30日 秋田県教育委員会『学力学習状況調査』視察



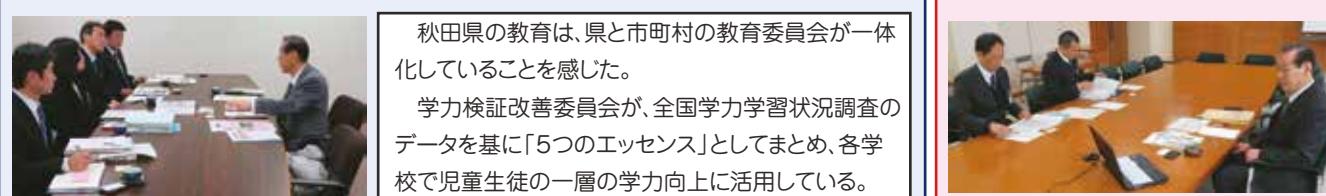
秋田県の教育は、県と市町村の教育委員会が一体化していることを感じた。

学力検証改善委員会が、全国学力学習状況調査のデータを基に「5つのエッセンス」としてまとめ、各学校で児童生徒の一層の学力向上に活用している。

平成25年以前から実施している主な取組

ふるさと教育…ふるさと(良さの発見・愛着心の育成・生きる意欲の喚起)
「問い合わせ」を発する子どもの育成…問題を発見し、他者との関わりを通して解決する。
「秋田わか杉っ子 学びの十か条」…学びの良さを実家上にまとめ、アピールと定着。
秋田わか杉 七つの「はぐくみ」…オール秋田でつくる教育環境を七つにまとめて発信。
わか杉チャレンジフェスティバル…算数・数学の難題を中心とした問題大会への参加。
教育専門監の配置…教科指導に卓越した力を有する教諭を複数の学校で活用する。
学力向上支援授業…教科指導CTの活用による指導力向上プロジェクト。
あきたの教育力発信事業…学力向上フォーラムを開催し、秋田の教育力を県内外へ発信。
キャリア教育実践研究事業…職場体験活動を広域で実施し、将来県内企業に就職を促進。

2月2日 福井県教育委員会『学力学習状況調査』視察



福井県では最近、小学・中学・高校の免許を取得した教職員を採用している。そのため、高校担任から中学担任に移動や小学校から中学に移動などができるようになった。
また、中学では、教科担任は「横持ち」の一学年全てではなく、1年、2年、3年を受持つ、「縦持ち」制度を採用している。

教育力向上のための施策

少人数教育…H16より中学校を中心に順次学級編成基準を下げていく。
独自の学力調査の実施…昭和26年度から継続(県が12月に実施)小5年、中2年の全児童生徒。「白川文学賞」を取り入れた漢字学習…小学6年間の配当漢字を超えて、楽しく学ぶ漢字学習。科学の芽を育てる理数教育…福井グランプリの開催、「サイエンス博士派遣事業」、サイエンス賞。英語教育…全ての中学・高校に外国語指導助手を配置、小学4年から英語に慣れ親しむ活動。「授業名人制度」…卓越した指導力を持つ優れた教員の授業DVD、初任者や若手教員を指導。福井大学教職大学院と連携…現職教員が勤務校で大学教員と協同研究。「18年教育」のスタート時充実…保・幼・小接続カリキュラム策定、幼児教育研修体制の確立。小中連携・中高連携…全中学校区で小中連携、協同授業推進。中高連携委員会(5教科教員)

小学校の学習状況結果の比較(1.当てはまる)%表示 静岡県の児童生徒の学習状況はほとんど全国平均以下です。秋田県・福井県と生活習慣が違う。

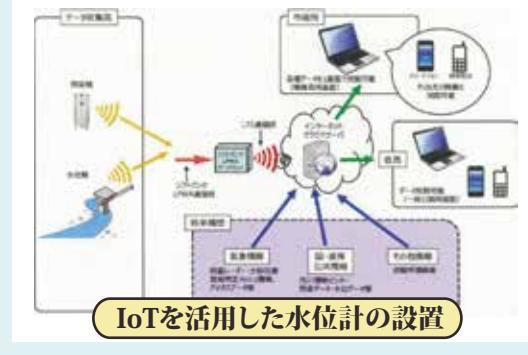
項目	静岡県	秋田県	福井県	全国平均	項目	静岡県	秋田県	福井県	全国平均
毎日同じくらいの時間に寝ていますか	34.3	44.6	40.5	38.2	学校の決まりを守っていますか	44.9	56.2	50.5	46.4
失敗を恐れないで挑戦してますか	22.4	37.2	30.6	26.7	授業の中で目標(めあて)が示されていたと思う	47.9	78.6	58.7	58.6
授業で学んだことを生活に生かしていますか	34.1	54.3	43.7	38.2	国語の勉強は好きですか	19.3	33.2	25.8	25.5
学習塾に通っていない	52.4	77.8	61.7	53.7	国語の授業の内容はよく分かりますか	29.6	54.2	45.8	38.9
自分で計画を立てて勉強してますか	25.7	48.0	32.0	30.0	算数の授業の内容はよく分かりますか	45.9	56.3	54.2	47.6
家で授業の復習をしていますか	20.8	67.4	37.6	23.6	算数の授業で問題の解き方をノートに書きますか	53.9	69.8	61.2	57.0

3月22日 第4回 小石川・黒石川流域総合的治水対策推進協議会を傍聴 会場島田土木事務所



黒石川の浸水被害を軽減する対策メニュー概要

- 黒石川の藤枝市管理区間において、下流へ影響を与えない範囲で局所的な河川改修を実施する。
- 地区内の碓井を円滑に黒石川に配水できるよう、下水道事業による雨水幹線の整備など排水施設の整備を進める。
- 流出を抑制するための雨水貯留浸透施設の整備について検討し、整備可能な個所の整備を実施する。



議会提案「手話言語条例」成立

『手話は言語です。』

公益社団法人静岡県聴覚障害者協会

手話は手や指だけでなく、表情、腕、体など全身を使って表現します。手話には以下のようないくつかの特徴があります。

- ◆写像的表現
- ・形や動作、量などをそのまま表します。
- ◆表情
- ・手・顔・身体で、感情や強弱の程度などを表現します。
- ◆方向
- ・手話や体の向きで能動(する)、受動(される)を表現します。
- ◆指さし
- ・主語を明確にする時や強調したい時に用います。
- ◆空間利用
- ・立場や位置関係、時間の経過を、空間を利用して表現します。
- ◆時制(過去・現在・未来)
- ・体の前方で未来を、後方で過去を表します。体の前で現在を表します。
- ◆同時性
- ・両手や視線を組み合わせて使うことで、複数の意味や内容が同時に表現されます。

